

『薬物治療コンサルテーション 妊娠と授乳 改訂3版』正誤表

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。

当該書籍に以下の誤りがございました。深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

■ p. 389 フルチカゾン・ビランテロール（レルベア®）の総合評価について

【誤】

一般名	主な商品名	添付文書情報		総合評価	
		妊娠		妊娠	授乳
		有益性投与	禁忌		
フルチカゾン・ビランテロール	レルベア	○			

【正】

一般名	主な商品名	添付文書情報		総合評価	
		妊娠		妊娠	授乳
		有益性投与	禁忌		
フルチカゾン・ビランテロール	レルベア	○		安全	安全

*総合評価は 安全 になります

■ p. 462 上から18行目（エスタロプラムシュウ酸塩：レクサプロ®）

【誤】

～，危険率は0.84 [95%CI : 0.34-1.51] と増加していなかった²⁶⁾。

【正】

～，危険率は0.84 [95%CI : 0.52-1.37] と増加していなかった²⁶⁾。

『薬物治療コンサルテーション 妊娠と授乳 改訂3版』更新情報

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。

当該書籍に以下の更新情報がございましたので、お知らせいたします。

「総合評価」と本文の整合性がとれずにご迷惑をおかけしましたことを、謹んでお詫び申し上げます。

■p. 570 授乳期：ナタリズマブ

【更新前】

●ナタリズマブ *natalizumab*：タイサブリ® _____

ナタリズマブは、ヒト乳汁中へ移行することが報告されているので、乳汁中の女性には、本剤投与中は授乳を中止する。血漿中での消失半減期を考慮し、本剤投与中および、最終投与後 12 週間は授乳を中止するよう指導する²¹⁾。

文献 21) タイサブリ点滴静注 300 mg 適正使用ガイド，バイオジェンアイデック，2014。

【更新後】

●ナタリズマブ *natalizumab*：タイサブリ® _____

ナタリズマブはヒト乳汁中へ少量移行することが報告されているが、分子量が約 149,000 Da と大きく、乳汁中に移行しても乳児の消化管内で分解される可能性が高いため、経口摂取してもほとんど吸収されないと考えられる。ただし、ヒトでの十分な情報が得られるまでは（特に、新生児や低出生体重児では）注意して使用するべきである²¹⁾。

文献 21) Lactmed:Natalizumab. Available at: <<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK501613/>>

2020年10月現在